| 整理No. | 35 |
|---|---|

# 平成26年度 施策評価シート（評価対象：H25年度）

## 【１．施策名】

| 施策コード | 151-01 | 基本施策 | 人権尊重社会の実現 | 所管部局 | 保健福祉部 |
|---|---|---|---|---|---|
| 施　策　名 | 人権尊重の推進 | | | 主担当課 | 人権同和政策課 |
| | | | | 関係部局課 | |
| 施策の目標 | 家庭・学校・地域・職場などのあらゆる場で、人権同和教育・啓発活動を推進するとともに、人権問題に対応する相談支援体制を充実することにより、差別のない社会を目指します。 | | | | |

## 【２．施策に取り組む理由】

| 施策目標に対する市民ニーズの傾向及び、施策目標の達成に向けた市の役割など |
|---|
| 少子高齢化の進行、情報化・国際化の進展等に伴い、人権問題は多様化かつ複雑化し、更に新たな問題も次々と表面化しているが、基本的人権の尊重は、憲法の基本理念であり、人権は、私たちが生活していくうえで最も重要かつ基本的な権利である。また、市が行うすべての施策は、市民の幸福を実現するために行うものであり、人権尊重はすべての施策の基本である。<br>すべての人の人権が尊重され、明るく住みよい社会を築くためには、教育・啓発によって人権尊重に対する市民の意識を高める必要がある。また、人権侵害を受けている人が自ら問題を解決し、自立した生活が送ることができるよう、専門機関等との橋渡しを行う相談支援体制の充実が求められている。 |

## 【３．施策指標】

| 施策指標（成果を示すもの） | 単位 | 基準値（H23） | 実績 H24 | 実績 H25 | 実績 H26 | 実績 H27 | 実績 H28 | 目標値（H28） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 人権教育に関する各地区住民自治協議会が実施する研修会への年間参加者数 | 人 | 17,157 | 18,026 | 14,273 | | | | 21,000 |
| 指標の定義 | 目標値のねらい（設定根拠・算定方法） | | | | | | | |
| 市内32地区の住民自治協議会が実施する人権教育に関する研修会・住民集会への年間参加者数 | 住民集会@100人×32地区＝3,200人<br>地域研修会@35人×504地域公民館＝17,640人<br>合計＝20,840人≒21,000人 | | | | | | | |

| 施策指標（成果を示すもの） | 単位 | 基準値（H22） | 実績 H24 | 実績 H25 | 実績 H26 | 実績 H27 | 実績 H28 | 目標値（H28） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | |
| 指標の定義 | 目標値のねらい（設定根拠・算定方法） | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

| | |
|---|---|
| 25年度の取組内容実績 | ・「人権を尊重し合う市民のつどい」、人権講座を開催した。<br>・様々なマスメディアを活用した広報、啓発パンフレットの作成・配布を行った。<br>・地区研修会・住民集会への講師派遣と講師確保のための情報提供等を行った。<br>・必須事務03により市内32地区の住民自治協議会が配置している人権同和教育指導員（26年度より人権教育指導員に改称）が、研修会講師として即座に対応できるよう、また地区内において人権教育･啓発活動が積極的に実施できるよう、実践的な研修会を年５回開催した。<br>・常設型人権相談所の通年開設及び人権擁護委員による年２回の特設人権相談所を増設した。 |

## 【４．総合評価】

| 総合評価　（目標値に向けて） | 一部に努力を要する |
|---|---|

| | 評価の理由・説明等 |
|---|---|
| **適応性**<br>市民ニーズや社会経済状況の変化に柔軟に対応しているか | 性同一性障害者、犯罪被害者、インターネットによる人権侵害等の新たな人権課題に対する施策や相談体制が十分ではないため、それらに対応する研修会の開催や情報の収集･提供を実施した。 |
| **達成度**<br>施策の目標達成に向けて順調に進んでいるか | 長野市人権政策推進基本方針を基に、市民及び住民自治協議会等の理解と協力を得ながら目標達成に取り組んでいるが、役員以外の一般の参加者数が減少傾向にある。 |
| **事業の成果等**<br>施策を構成する事務事業は目標を達成しているか | 人権教育に関する各研修会や住民集会への年間参加者数は目標値に達していないが、各地区では人権教育指導員を中心に研修会等を開催している。人権教育は地道に継続していくことが重要であるため、事業の成果としては地域の実情にあった取組が行われ、効果があがっている。 |

## 【５．今後の展開】

| | 課　　題 | 課題解決に向けた具体的な取組 |
|---|---|---|
| 1 | 都市内分権による全市的な人権同和教育促進連絡協議会の廃止に伴い、地区相互の情報交換・情報共有ができなくなった等を理由に活動が停滞したり、組織が形骸化する等、地区毎の取組みに温度差が生じている。 | 各住民自治協議会長及び人権教育啓発担当部署担当責任者と指導員が、共に先進的な組織活動を展開している他地区との情報交換や知り得た情報を共有できるよう合同研修会を開催し、内容の充実を図る。 |
| 2 | 地区によっては組織の機構上、人権教育指導員が1年ごとに交代するため、指導員の資質向上が図れず、講師派遣等、全面的に人権同和政策課に依存している地区がある。 | 必須事務の主旨目的を明確に把握し、長期的な視野による人選の必要性を説明して理解を求めるとともに、目的達成のため、積極的な情報提供や支援を行っていく。人権教育指導員研修会は、全ての指導員が地区内での研修会講師を務められるよう、実践重視の内容を継続する。 |

| | |
|---|---|
| 施策展開の方向性（H26年度以降） | 長野市人権政策推進基本方針に基づき、人権教育・啓発活動の継続的な取り組みや総合相談体制の整備を進めるとともに、新たな人権課題に対する支援施策の構築に取り組む。また、それぞれの人権課題を担当する課に対し、人権政策推進基本方針に基づく施策の改善・実施を求めるとともに、定期的に進捗管理を行っていく。 |

## 【６．施策を構成する主な事務事業】

| 番号 | 事務事業名<br>［事業区分］<br>担当課名 | 事務事業の概要 | 事業の取組実績・成果 |
|---|---|---|---|
| 1 | 人権同和教育啓発<br>［サービス提供事業］<br>人権同和政策課 | 市民の人権尊重意識を高めるため、住民自治協議会毎に地区研修会及び住民集会を開催する。様々な手法を効果的に活用し広報・啓発を行う。 | 地区研修会、住民集会は目標の536回に対して373回開催し、参加者は14,347人で目標の21,000人に達しなかったが、各地区の実情にあった取り組みが行われている。 |
| 2 | 人権啓発・相談<br>［サービス提供事業］<br>人権同和政策課 | 様々な人権侵害を受けている市民のため、相談窓口を開設し、関係機関と連携をはかりながら自らの力で問題解決できるよう支援を行う。 | 常設型相談所開設<br>（平日午後・年244日）<br>相談件数213件<br>特設人権相談所増設（２回）<br>相談件数９件 |
| 3 | | | |
| 4 | | | |

| 番号 | 事業の分析結果 | | | | | | 年度別事業費（千円）（H26は予算額） | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 達成(進捗)状況の評価 | 必要性 | 妥当性 | 有効性 | 効率性 | 今後の方針 | H23 | H24 | H25 | H26 |
| 1 | B | A | A | B | B | 継続 | 19,511 | 18,292 | 18,150 | 18,473 |
| 2 | B | A | B | B | B | 継続 | 1,924 | 1,914 | 2,134 | 1,899 |
| 3 | | | | | | | | | | |
| 4 | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5 | | 事務事業の概要 | | | | | 事業の取組実績・成果 | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | 事業の分析結果 | | | | | | 年度別事業費（千円）（H26は予算額） | | | |
| | | 達成(進捗)状況の評価 | 必要性 | 妥当性 | 有効性 | 効率性 | 今後の方針 | H23 | H24 | H25 | H26 |
| | | | | | | | | | | | |
| 6 | | 事務事業の概要 | | | | | 事業の取組実績・成果 | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | 事業の分析結果 | | | | | | 年度別事業費（千円）（H26は予算額） | | | |
| | | 達成(進捗)状況の評価 | 必要性 | 妥当性 | 有効性 | 効率性 | 今後の方針 | H23 | H24 | H25 | H26 |
| | | | | | | | | | | | |
| 7 | | 事務事業の概要 | | | | | 事業の取組実績・成果 | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | 事業の分析結果 | | | | | | 年度別事業費（千円）（H26は予算額） | | | |
| | | 達成(進捗)状況の評価 | 必要性 | 妥当性 | 有効性 | 効率性 | 今後の方針 | H23 | H24 | H25 | H26 |
| | | | | | | | | | | | |
| 8 | | 事務事業の概要 | | | | | 事業の取組実績・成果 | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | 事業の分析結果 | | | | | | 年度別事業費（千円）（H26は予算額） | | | |
| | | 達成(進捗)状況の評価 | 必要性 | 妥当性 | 有効性 | 効率性 | 今後の方針 | H23 | H24 | H25 | H26 |
| | | | | | | | | | | | |
| 9 | | 事務事業の概要 | | | | | 事業の取組実績・成果 | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | 事業の分析結果 | | | | | | 年度別事業費（千円）（H26は予算額） | | | |
| | | 達成(進捗)状況の評価 | 必要性 | 妥当性 | 有効性 | 効率性 | 今後の方針 | H23 | H24 | H25 | H26 |
| | | | | | | | | | | | |
| 10 | | 事務事業の概要 | | | | | 事業の取組実績・成果 | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | 事業の分析結果 | | | | | | 年度別事業費（千円）（H26は予算額） | | | |
| | | 達成(進捗)状況の評価 | 必要性 | 妥当性 | 有効性 | 効率性 | 今後の方針 | H23 | H24 | H25 | H26 |
| | | | | | | | | | | | |